

戦争に奪われた兄 父母の悲しみ

昭和20年8月15日、日本は降伏を宣言し、多くの犠牲と悲しみを生んだ戦争が終わりました。その時、吉村千代喜さんは17歳。2人の兄を戦争で亡くし、両親とともに深い悲しみの中にいました。終戦から71年。私たちは両親や祖父母が経験した悲惨な過去を繰り返してはなりません。戦争により引き裂かれ、遺族となった悲しみを、吉村千代喜さんに伺いました。



▲千代喜さんの上の兄・和さん



▲千代喜さんの下の兄・卓さん

戦争の犠牲になった兄
私には2人の兄がいました。未っ子で1人だけ女の子だったからでしょう、兄からはとてもかわいがってもらったことをよく覚えています。小さい頃は毎日のように遊んでもらい、木馬（木材を山から運び出すためのそのりのような道具）に乗った私を兄たちが引張って山を駆け下り、みんな泥だらけになって帰ったものです。

長男の和兄さんより先に、次男の卓兄さんが志願して、広島県にある呉海軍工廠に入りしました。卓兄さんが16歳のときです。海軍工廠とは、兵器や弾薬を開発・製造する海軍直営の軍需工場です。呉海軍工廠は、戦艦大和が建造されたことでも有名になりました。その後一旦帰郷が許され、実家に帰ってきたことがありました。後で聞いた話ですが、卓兄さんは海軍工廠で上官

からひどく殴られ、戻るのが嫌がっていたそうです。その後和兄さんも20歳で徴兵され、満州へ通信兵として従軍しました。満州であれば戦火に巻き込まれることも少ないだろうと、両親は安心したようです。私はといえば、現在の山田高校が建つ場所にあった女学校の2期生として通っていました。1期生の人たちは学徒動員により県外で働かされ、私たち2期生は

作業や田畑の開墾に従事させられていました。勉学に励むような時間も余裕もない暗い時代でした。郷土を離れ、それぞれの戦地で暮らす2人の兄からは、便りが届くこともなかったそうです。便りが無いのは無事な知らせと両親は思っていたことでしょう。昭和19年6月19日のことが、中部太平洋方面で航海中に交戦し、戦死したと知

らせが届きました。まだ18歳の若さでした。そして翌20年、6月5日、和兄さんの戦死を知らせる通知が届きました。私たち家族にとつて、それは耳を疑うような知らせでした。和兄さんは満州で通信兵をして無事でいるものと思っていたからです。しかし私たちの知らない間に部隊はフィリピンのレイテ島に進進しており、最後は玉砕して果てたということでした。

残された家族の悲しみ
2人の息子を亡くした父と母の悲しみは深く、暗黒の中に迷い込んだかのように感じました。父は歌が非常に上手でよく歌っていましたが、戦死

の知らせを受けてからは全く歌わなくなりました。母はふさぎ込み、時折家を空けてどこかへ出かけるようになりました。いま思えば、同じように家族を亡くして残された人の家を訪

ねて、お互いに慰め合っていたのではないのでしょうか。亡くなった2人の兄を思い、悲しみに包まれた父母の姿を毎日見ていると、心が引き裂かれそうになり、早くこんな時代が過ぎ去ればいいのにと思いました。

走り！と叫びました。いまでこそあれは毒ガスではなかったと分かりますが、当時は非常に恐ろしく、母の言うとおりの一目散に逃げたのを覚えています。昭和20年7月22日のことは今でも忘れられません。未明に激しい轟音が鳴り響き、その音で目が覚めました。あまりに大きな音だったので、すぐに近くに爆弾が落ちたのだと思いました。しかし、実際に落ちた場所は佐岡国民学校（旧佐岡小学校）でした。一度通り過ぎた1機のB29は何分も立たないうちに舞い戻り、17発の爆弾を落としてい

ったそうです。駐屯中の陸軍兵士が、夜中に食事を作るためにつけていた明かりを見て引き返してきたのではないかと言われています。この爆撃で国民学校の北校舎が全壊し、民家も4戸が全壊しました。また、地区の住民4名と陸軍の兵隊7名が死亡、50名以上の負傷者が出たということです。いまでも年に1度、高知の護国神社で10月に行われる慰霊祭に参加しています。そして2人の兄に祈りをささげるとともに、二度とこのような悲しい歴史が繰り返されないよう、強く強く願うのです。



吉村千代喜さん(87歳)
土佐山田町大平

佐岡空襲
いつ終わるとも知れない戦争の日々を、私たちは悲しみを抱えながら生きてきました。度々上空をB29が轟音を立てて飛行し、その機体から白い煙を出しました。母はそれを毒ガスだと言いつつ濡れタオルを口にくわえて逃げ！山の上まで

くわえて逃げ！山の上まで

くわえて逃げ！山の上まで

香美市の 平和活動

非核・平和宣言都市

核兵器の廃絶と平和を願う全ての人々と相携えて行動することを決意し、平成18年5月25日、『非核・平和都市』宣言を行い、『日本非核宣言自治体協議会』に加入しました。

平和市長会議への加盟

平成22年1月1日に『核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画』に賛同する世界各国の都市で構成されている平和市長会議に加盟しています。

香美市戦没者追悼式

香美市では、毎年、戦没者の追悼式を行っています。今年は5月20日に、中央公民館で行われました。

式では黙とう・献花に続き、大栃中学校を代表して、高橋真衣さんが平和の作文を朗読しました。参加者らは、戦争の悲惨さと平和の尊さを未来へと語り継ぎ、心豊かな社会を築いていくことを改めて誓い、戦争で尊い命を落とされた方々のご冥福を祈りました。



ヒロシマ・ナガサキ被爆ポスター展

8月1日～31日まで、市役所1階ロビー・香北支所・物部支所で『ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展』を開催します。

黙とうをささげましょう

広島市原爆投下時刻

8月6日午前8時15分

長崎市原爆投下時刻

8月9日午前11時2分

終戦記念日

8月15日正午